

ねっとわーく水沢

＜第81号＞ 2020年（令和2年）5月10日（日曜日）
編集・発行 水沢地区振興会内、水沢地区広報委員会
事務局 水沢公民館内 電話 758-3101 FAX 758-3102
E-mail:mizusawa-k@city.tokamachi.lg.jp

地区内世帯数・人口(3月31日現在)
1,811世帯 5,056人
(男2,474人 女2,582人)
前年同月比
世帯 -14 人口 -75人



認定こども園あおのもり

この4月に、森の保育園と水沢保育園が一緒になり旧水沢中学校跡地にオープンした認定こども園あおのもり。世の中が大変な時期の開園ですが、ゆったりとした環境で伸び伸びと子ども達を育ててください。

◆ 読者欄	◆ 特集記事	◆ 地域の黒板	◆ 総代便り	◆ 学校・保育園便り	◆ 駐在便り	◆ 振興会便り
・ @みずさわ・漢詩・編集後記	・ 水沢公民館、妻有荘	・ 水沢、馬場、土市、新宮 伊達、大黒沢、細尾、池沢 中在家、市ノ沢、幸町	・ 水沢中PTA、水沢小PTA 水沢南部保育園、	・ 水沢中学校、水沢小学校		
...
12	11	11	10	4 6	3	2 3

目次

振興会便り

「上沼道に寄せる」

水沢地区新振興会前振興会長 上村 國平



私は 13 年間水沢地区振興会に在籍しておりました。昔の振興会は公共事業の推進が 80% 位の比重であった様に思います。公共事業は重要なインフラ整備ですから当然とも云えるでしょう。私が痛感したのは公共事業と云えるものは話が出てから完成する迄に 20 ～ 30 年かかると云う事です。私の在任中に何箇所かの完成祝賀会に出席したり、また我々自治体で落成記念式典を催したりしました。それは大半が先輩達が何十年という運動をおこない、又、苦勞を重ねて来たからに他なりません。心の中で感謝の気持ちを捧げながら仕事をやって参りました。八箇峠道路の開通式の席上道路族の首領である古賀誠先生が十日町道路の今後に対し「あと 5 年でやりましょう」と仰られた時はびっくりしました。最強の心強い言葉であると今でも時々思い出します。私達は何回もそして何十回も会議をし、またワークショップを重ねて参りました。当地域にインターチェンジが設置される事が説明されました。インターが入って来るお客様も飛躍的に多くなりますがまた、出て行かれる人も多くなる筈です。この所を私達水沢地区は要として捉え、十分な議論を尽くし、インター推進協議会の基に結集し、チームワークを良くし、何と云っても人口減少にストッパーをかけなくてはなりません。大変な仕事だと思いますがこれ以上の夢の有る作業は無いと思います。

地域の皆様も協力は惜しまない筈でございます。会長を始め執行部の皆さん、そして常任委員会の皆様、健康に留意されて頑張ってください。

路拓く

水沢商工会前会長 宮沢 勝宏



昭和六十(1985)年十月、三国の山に関越トンネルが開通し、関越自動車道が完成した。東京都湯沢町の誕生だ。如何にして関東圏、東京に時間距離を縮めるか地域発展の最大の命題だ、この事は我が十日町としては六日町インターに接続するしかない。

接続道として峠道(国道253)はあるにはあるが、夏は大雨が、冬は大雪となれば通行止めとなり、幹線道路の役割を担うに頼りなさ一通りではなかった。新幹線の計画から外れ、高速道から見放され、高速交通のネットワークから零れ落ちた十日町、さてどうしたものか。

ところがこの頃ご承知のように日本はバブル期に入り、十日町の織物産業は順調に生産高を上げ、1991年には約450億に達し、大いに潤った。十日町織物産業の特徴は域内完結の産業で蚕のえさとなる桑、繭から製糸、織り、染め仕立て、そして販売(買継ぎ問屋)詰まる所、農工商全てが十日町の中で完結した、正に織屋城下町であり、自立感強かった。しかしバブル景気は何時しか終焉し、基幹産業の織物産業も息を潜めざるを得なくなつた。となれば新たな産業の誘致、起業の育成を図らねばならない。

域内完結の産業構成からの変革は何よりも流通機能の整備にある、つまり役割を明確に位置付けた道路、天候に左右されない安全でスピード感のある産業道路。こうした時代の要請から、上越魚沼地域振興快速道路、全体同盟会総会を上越市で立ち上げた。地域振興を目的に上越市から六日町60キロ整備する、快速道路(自動車専用道路)の計画が誕生した。この後十七年間の関係者努力あつて、平成二十九(2017)年十一月二十五日クロステンに於いて中間完成の祝賀会が催された。十日町市八箇ICと六日町野田IC供用開始(国道二五三号八箇峠道路開通)を祝うものだ。このように八箇峠の腹は抜いたが、まだ関越道の六日町I

は進んでいる。八箇 IC から上越への計画も見通し付いたようだ、このことは振興会長からお話あると思うので割愛させていただきます。

先の建設期間中の九年間、私は水沢振興会長共々、水沢商工会長として当て職ながら、上越魚沼地域振興快速道路「十日町・六日町間」整備促進連絡協議会の会員として進捗携わらせてもらった。

経済活動を通し地域繁栄を担い願う商工会として、高速交通の道路整備は何よりに増して強く願うものです、しかし建設は途方もなく時間と金を必要とします、そして完成までの時間に世の中は進む、待つてはくれない。この差を仕方ない事として足踏みし道路の完成を待ち、道が出来てからの夢にかけるか、心許ない。

織物業に匹敵する産業を起業出来ないものか、雪深く何もめぼしい物ないこの地を繁栄させた織物業、どうも此処にヒントがある様に思える。冒頭に書いたように地域資源の活用で地域完結の産業、裾野広く農工商大勢が携われる産業が。

そこでお願ひしたいのが地域おこし協力隊 (OB 共々) だ、様々活躍頂いているが、少し遠慮が見える。この地に生活を続けている我々にとつて、新たな挑戦を望んでも無理視点が先立ってしまい、二の足の足を踏みタイミング逸してしまう、よそ者視点で新産業の道を拓いて欲しい、それが叶えば高速道の建設にも弾みがつく。遠慮しないで頑張つて、応援します。

駐在便り

はじめまして

土市駐在所 風巻 完



今年度より南魚沼警察署から十日町警察署土市駐在所に赴任して参りました。私は隣の津南町出身で、母校は十日町高等学校です。また、小学生時代には、水沢の十日町体力づくり支援センターで水泳を習っていたことなどもあります。そして今回、思い出深い水沢地域の

駐在所員として勤務させていただくこととなり、非常に縁を感じています。

すでに、様々な場面で地域の方々とお話しさせていただいていますが、皆さんとても人柄が良い方ばかりで、大変助かってます。土市駐在所員として、皆さんの安全安心を守るよう努力して参ります。

さて、最近暖かくなり、登山や山菜採りに出かけられる方も多いのではないのでしょうか。そこで気をつけていただきたいのが山岳遭難です。新潟県内では、昨年4月から6月までの3か月間に42件(44名)の山岳遭難が発生し、残念ながら7名の方がお亡くなりになり、1名の方が行方不明です。春の山岳地は、たとえ麓が好天であっても、標高の高いところでは天候が変わりやすく、冬山と同じ気象条件になることがあります。

山岳遭難防止のため、登山者や山菜採りの皆さんにつきましては、
○ 無理のない計画を立ててから登山計画書を提出し、出発前に行き先や帰宅時間を家族等に知らせる。

○ 事前に装備品をよく点検し、無線機や携帯電話等の連絡手段を必ず持つて行く。

○ 残雪によるスリップや、雪解けの影響による雪崩に注意する。

○ なるべく複数で入山し、お互いにはぐれないように注意する。

○ 急斜面等、足場の悪い危険な場所での山菜採りは行わない。などの点を考慮していただき、安全に登山や山菜採りを行っていただきたいと思ひます。

終わりに、これから様々な場面で皆さんにお願いをすることがあるかと思ひますが、どうか趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますようよろしくお願い致します。

学校・保育園便り

【水沢中学校】

新たなものを生み出すチャンスに

水沢中学校長 山本 俊介



地域の皆様からは、平素より、水沢中学校の教育に対して御支援、御協力をいただきありがとうございます。

去る四月八日に四十三名の新入生を迎え、全校生徒百二十三名で令和二年度をスタートさせました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、三月から一ヶ月あまりの休校を余儀なくされました。生徒たちの心身の不調など懸念されましたが、学校が再開してからは、仲間と学習や諸活動に取り組むことができる喜びをかみしめるように、明るく、元気に学校生活を送っています。しかし、まだしばらくは様々な制約の中で学校生活を送る状況が続きます。保護者、地域の皆様の御協力もいただきながら、困難な状況の中にあっても、生徒たちの「明るさ」「元気」を失わせないよう、教職員一同努めてまいります。

さて、現在、これまで経験したことがない状況にあります。だからこそ、この中で生徒、教職員が共に知恵を出し合い生み出すものは、過去になかった取組や活動であり、新たな伝統となって学校に根付いていく可能性があります。現在の状況を、新たなものを生み出すチャンスと前向きに捉え、生徒と共に水沢中学校の新たな伝統をつくるために頑張っていきたいと考えています。地域の皆様からは、今後水沢中学校の教育に御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

【水沢小学校】

「生きるちから」を育てたい

水沢小学校校長 青柳 康仁



令和二年度がスタートしました。新型コロナウイルス予防対応で、スムーズには言い難い状況ですが、子どもたちは、一か月の臨時休業に耐えて、元気に学校に戻ってきました。このような状況の中で、制限される活動も多く、修学旅行は九月に、運動会は十月に変更して実施することとなりました。これまで当たり前でできていたありがたさを、改めて感じています。しかしながら、この一年は、子どもたちにとって二度と来ない一年です。精一杯学び、仲間と関わることができるよう、様々な工夫をし、楽しく充実した生活を実現していきます。

水沢小学校は、今年度も「自己有用感を高める学校」を掲げ、縦割り活動を充実させたり、振り返りを大切にしたりすることを通して、自分の成長を自覚できるようにします。そして、「新学習指導要領」が完全実施された今年度だからこそ、予測困難な社会を生き抜いていく子どもたちの「生きる力」の育成に全力で取り組みます。

水沢小学校は、今年度も「自己有用感を高める学校」を掲げ、縦割り活動を充実させたり、振り返りを大切にしたりすることを通して、自分の成長を自覚できるようにします。そして、「新学習指導要領」が完全実施された今年度だからこそ、予測困難な社会を生き抜いていく子どもたちの「生きる力」の育成に全力で取り組みます。



令和 2 年度入学式

【水沢南部保育園】

水沢保育園は「おらが保育園」

水沢南部保育園園長 富井茂



四月一日より、前園長富井武保さんから園長引き継いだ富井茂と申します。三月三十一日まで南魚沼市の小学校に勤務していました。着任以来、地域の皆様方や保護者の皆様に温かい言葉をかけていただき、地元の良いさを実感しています。

水沢南部保育園は昭和39年に設立され、今年度五十七年目を迎える伝統のある保育園です。当時、保育の重要性が問われ始めた頃、地域の面立ちが地域住民と協議の上、設立しました。これは当地域の教育に対する意識の高さと地域のまとまりを表しています。それ以来、五十七年間、脈々と運営委員会との運営により、保育、幼児教育が営まれてきました。まさに「おらが保育園」なのです。この歴史と伝統、地域の熱意に答えるべく、職員一丸となって、地域の子ども達を指導していきます。

四月七日、五名の入園児を迎えて、入園式が行われました。来賓として、福島運営委員長を始め、各集落総代様からご出席いただき、入園児保護者、在園児、職員で入園のお祝いをしました。園長からのお祝いの言葉の中で三つの約束をもらいました。一つ目は、名前を呼ばれたら大きな声で返事をする。二つ目は、元気なあいさつをする。三つ目は優しい言葉遣いをする。この三つの約束は、保育園だけでは身に付きません。ご家庭でも取り組んでいただくようお願いをしました。翌日から元気な返事とあいさつが飛び交っています。保育園と保護者で手を取り合って、子供の健やかな成長を見守っていきたくと考えています。



四月十二日、日曜日の早朝に環境整備作業をしました。フェンスの取付、遊具の設置、冬囲いの撤去を行いました。翌日から、子ども達は大喜びで遊具で遊んでいます。

この作業には、全家庭が参加し、その他にも馬場と水沢集落の運営委員の皆様からもご協力いただきました。ここでも「おらが保育園の」意気込みを感じました。

このように今年度もコロナウイルス感染対策をしながら、順調にスタートしました。

保育の目標の「やれば出来る」「元気よくやりぬく子」の具現化のために職員一同、精一杯取り組んで参ります。地域の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

【水沢中学校 P T A】

困難な時こそ

水沢中学校 P T A 会長 金澤 福太郎



去る 4 月 8 日 (水) 水沢中学校入学式へ参加させていただきました。式典においては、新型コロナウイルスの影響により全員がマスク着用かつ、規模を縮小しての開催。このような状況の中での開催にもかかわらず、保護者様、新入生、先生方の新たなスタートを皆で喜んでいる様子に、水沢地域の強さを感じました。

新型コロナウイルスは首都圏のみならず、地方の至る所にも影響を及ぼしています。中学校においても各種行動が制限され、思ったように活動もできない事も多いと思います。ですがこういった困難な時にこそ出来る事、学べる事もあり、その経験が成長の糧になる事もあります。生徒同士の絆、先生との絆を深めつつ、この大きな壁を水沢中学校生徒全員が乗り越えていく事を期待いたします。P T A 会長としまして、保護者の皆様、地域の方々とは協力し、しっかりとした中学校生活を送れるよう精一杯サポートさせていただきます。

【水沢小学校 P T A】

よろしくお願ひします

水沢小学校 P T A 会長 上村 雄一

4 月になり新年度が予定通りに始まりました。始業式、入学式も無事に行うことができ、制限もありますが子供たちの元気な姿が学校に戻ってきました。

今年度は、学校活動や P T A 行事など、計画通りにいかない状況になっています。こういった状況だからこそ、子供たちが学校や地域で安心・安全に、そして元気に過ごしてもらいたいと思います。そのために、先生方、P T A 役員、P T A の皆さんと協力して活動していきたいと思えます。一年間よろしくお願ひします。

総代便り

【水沢】

新年度にあたって

水沢総代 金沢 政史



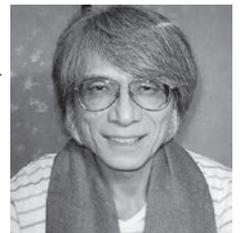
水沢集落は役員十五名にて運営をします。

一年間明るく元気に楽しくを、基本に活動して行きたいと思えます。水沢には若い人達の集りで、みこしの会があります。若い人達が中心になる事により集落が活性化してゆくと思えます。又自分を含めて年配の方が多数いらっしゃるのでも他人にもやさしい所に、なつてほしいです。初めての役なので役員の方、集落の方の協力を得て、各行事を進めてゆきたい。失敗も多いと思えますが、今まで経験しない事がたくさんあると思うと、大変楽しみです。一年間よろしくお願ひします。

【馬場】

将来に向かって

馬場総代 樋口 仁



小雪で例年とは違う様子で始まった新年度ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各催しが中止または延期となりました。終息が見えないため皆様が不安な日々を送っている毎日のことと思います。私たちの集落の将来にも不安や心配ごとが多くあります。その一つが少子化です。

十日町新聞の報道によると十日町市の現状は今年地域での高校を卒業する生徒が 800 人、その中の 600 人が専門学校や大学に進学をし、150 人が就職で十日町を去り、地元企業への就職は約 50 人だそうです。これを私たちの集落にあてはめると毎年高校を卒業して集落に残るのは 1 人いるかどうかという数字になります。これからは若い人達による集落事業が懸念されます。

高齢化に関しては、稲作をされている農家は大半は担い手に委託している現状ですが、担い手の方の高齢化も心配されています。また畑は私の家も含め耕作放棄地が多くなっている現状です。集落の普請では作業場所により危険な所もあり人選が必要となる場合も出てきています。私たちの集落は水沢地区では世帯数が多い地域ですが、少子高齢化により、今まではあまり考える必要がなかったことも、これからは考えて行かなければならないことが、出てくると思います。就任にあたり暗い話になりましたが、他の地域も抱えている問題だと思います。

これから将来に向かって自分たちの生活するところが住みよい場所になるように集落全体で考えていく必要があるように思います。微力ではありますが「住みよい場所」にするためには、どうしたらよいかを考え努力をし、また協力をしたと思っています。

【土市】

新年度にあたって

土市町内会長 山崎 耕作



土市町内会では、5 年毎に 5 年間の会長候補 5 名を選んでいます。この 5 名での話合いの結果、次期 5 年間の最初の年の担当になりました。

昨年 12 月 10 日に新役員 7 名で初会合を持ち、「令和 2 年度」がスタートしました。この新年度になんと土市町内会初の平穏生まれの役員が誕生しました！皆、喜んでおります。

町内会役員に若い人が沢山参加し、令和からその次へとバトンをつないで行って欲しいと願っております。

そして年明けから新年度に向けて準備を進めて来ましたが、新型コロナウイルスの感染が日を追うごとに拡大し、先の見えない状態になって来ております。前例の無い一年になると覚悟し、役員一同力を合せて頑張りますので、御理解とご協力の程宜しくお願い致します。

新型コロナウイルス感染の終息とかつての日常生活が一日も早く戻る事をお祈り申し上げます。

【新宮】

新年度にあたって

新宮総代 村山 秋夫

この度、新宮自治会の会長に就任いたしました村山秋夫です。さて、総会から始まり道普請、春祭りと行事を予定しておりますが、昨年度末から新型コロナウイルス感染拡大防止のため通常どおりの行事が出来なくなり、就任早々頭を痛めております。し

かし、当集落には総務委員会、事業委員会、厚生委員会と三つの委員会が自治会長を補佐する仕組みになっておりますので、自分一人で悩まず委員の皆さんと集落の方々と相談して事業を進めて行きたいと思っておりますので一年間宜しくお願い致します。

【伊達】

新年度にあたって

伊達総代 宮澤 昇一

皆様の集落も新体制でのスタートができた事と思います。私も自治会に総代として全員マスク着用での出席をお願いし、会場は白一色で異様な光景の中、始まりましたが皆様から承認いただき無事全ての議案を成立する事ができました。新役員として一番大きな改革として、自治会としての香典の扱いについて議題に挙げさせて頂き長年続けてきた風習でしたが時代に合った扱いに改革することができ、自分自身、以前からの念願でしたので総会での審議は心配でしたが成立いただき自治会員からも大変喜んで頂き、議題に挙げてよかったです、一つ大きな仕事ができたい事を喜んでいきます。もう一つ自治会として各行事を使用する道具等を収容する置き場の建設工事を承認頂き今後、大いに活用できる事を期待しています。

さて、世の中の話題は新型コロナウイルス一色ですが自治会事業におきましても大きな影響を受けています。各事業とも殆どが大勢の皆さんが集まる事が予想され、変更、中止の決断を余儀なくされ、いつ終息するかわからないコロナウイルスに振り回される一年になるかと思ふと大変心配しています。

【大黒沢】

住みやすい集落を

大黒沢総代 村山 豊作

令和 2 年度の大黒沢の総代を仰せつかりました、村山と申します。宜しくお願いします。

前年度の総代さんとの引継ぎ会で業務が多く、自分が出来るかと不安になりましたが役員一同協力し、皆様のご指導をいただき一年を務めてまいりたいと思います。

さて、残念ながらコロナウイルスの為、この夏に予定していましたが東京オリンピックが一年延期となり非常に残念であります。

一日も早く、コロナウイルスに打ち勝ち、いつもの生活が出来るように願っています。

【細尾】

新年度にあたって

細尾総代 小林 敏彦

令和 2 年度、細尾惣代を任された小林 敏彦です。

新型コロナウイルスで大変な時期にと思い、今後の秋祭り他の行事が再開出来ないことも感じていますが部落一同一致団結し、ワンチームで乗り越えて細尾集落の発展に向かって頑張りたいです。

今年一年、一生懸命惣代として務めさせて頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

【池沢】

新年度が始まります

池沢総代 樋口 義則



私達、池沢集落の行事予定は、春総会で行事を決めています。今年五月三日に、道普請を予定しています。作業をする人達が少なくなつこう大変な作業になります。協力隊員が参加してくれて、大変助かります。

今年は、暖冬小雪で、春の田んぼの水不足が心配です。それにコロナウイルスでさわがれていますが、みんなコロナにならないように気をつけましょう。

【中在家】

おらほの明日はどうなる？

中在家総代 樋口 久男

私が最初に集落の総代を仰せつかったのが三十三才の年で、今から三十五年前のことになります。今現在の集落の人口は、二十一世帯五十五人です。世帯当たり二、六人です。昭和六十年当時の人口は、何と二十二世帯百十人で今の倍の人が住んでいたのです。世帯当たり五人家族でした。私の世代の人口が多く、ちょうど子育ての時期とも重なります。

中在家の農業を語るときに欠かせない出来事があります。昭和三十六年に農業基本法が制定され、複合経営を目ざして昭和四十四年に第二次農業構造改善事業がスタートしました。当時先進的な事業で、細尾・小泉・中在家が取り組みました。中在家では蚕の後継作物として

葉たばこを取り入れたのでした。当時はまだバックフォアが無くブルドーザーと人力による施行でありました。経過年数五十年を越えるに至り、維持管理もむづかしくなってきたのです。中在家は今、過疎化・高齢化と共に新たな農地の基盤整備の必要に直面しています。

そんな中、我々高齢者を中心とした地域活動はどんなことができるのか？

楽しいことが共有できて、充実した気持ちになれて、中在家で住み続けても良いかなと思えば、それぐらいで良いかなと思う。望みは小さく、成果は大きく感じたい。これからは高齢者を中心とした地域社会を目ざしたい。

やれることはいっぱい有りそうだ。高齢者がいっぱいいる。現役を退いて頭の中は責任が軽くなって、考える時間はいっぱい有る。経験や知識もいっぱい有る。あとはこのいっぱい有るものを活用する気力を持てば、そうとうやれそうだ。うまく健康と付き合いながら。

【市ノ沢】

新年度にあたって

市ノ沢総代 飯塚 正行

このたび、令和2年度の市ノ沢区長(総代)に選任されました。未熟者の小生には大役ではありますが、一年間宜しくお願い致します。

当集落は、大学生と共働で活性化プロジェクトに取り組んでいます。今年度、シーズン2に入りSNSを活用した活動を準備中です。学生達は課外活動禁止の中、活動のやり方を含め模索しているところでもあります。この活動を通じ、明るく、住みやすい集落作りを推進していきます。

今現在、行事・イベント等の自粛要請、不要不急の外出自粛等々大変な時期ではありますがこの秋は、『魚つかみ』でもしてリフレッシュしたいと思います。皆さんもいかがですか？

【幸町】

新年度にあたって

幸町総代 山田 哲也

今年度の幸町総代を務めさせて頂きます山田です。
未だに町内の事や、他の集落との関わり事で分からない事が一杯あり、総代としての役目が務まるかどうか不安ではありますが、精一杯前向きに取り組みたいと思います。

私の最初の総代としての仕事は、4月の通常総会を、新型コロナウイルス感染症の影響を勘案し、書面形式での総会とさせて頂いた事でした。3月下旬より議案書を作成し始め、文書の書き方が分からない中、諸先輩のお手本やアドバイスを伺い、何とか期日迄に仕上げ、全世界へ配布する事が出来ました。今後色々な仕事があるかもしれないが、自分だけが大変ではない事、役員同士で知恵を出し合えば解決策が見つかる事、これを忘れず取り組んで行きたいと思えます。

総代になって改めて感じるようになった事があります。
それは、例えば次の3点です。

- ・ 町内を流れる側溝に蓋がしてあるので、安心して通行できる事。
- ・ 大きな杉の木が歩道にはみ出ていないので、降雪期も安心して歩ける事。
- ・ 町内会費が毎月自動で引落されるので、隣組長が1軒ずつ回収しなくていい事。

この他にも、私が気付いていないだけで、実は沢山の恩恵を受けて生活させて頂いている事を、改めて感じさせられます。歴代の総代や、先住の諸先輩が、苦労されながらも築いてきた礎だと思いと、感謝の気持ち湧いてくる次第です。それから、近所の道の脇に座っているおばあちゃんや、道路ですれ違う近隣のおじさん、おばさん、そして私の義母、この方達の背中がとても大きく感じられるようになりました。こういった方達が、いつまでも元気でいてくれる事が、どれだけ頼もしく有難い事かと感じさせられる日々です。もちろん、若い方達

や子供達も含め、老若男女一人一人が主役となって、町内の明るい未来を描ける様に、これからも微力ながら町内活動に携わっていきたいと思います。
1年間よろしくお願い致します。

地域の黒板

【水沢公民館】

はじめまして

水沢公民館 河田 翔子

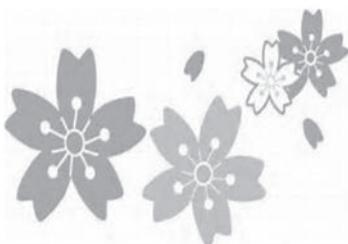


4月から水沢公民館に参りました河田翔子です。
となりの中里から通勤しています。以前は、中里公民館で勤務していました。

私は食べる事が大好きです。水沢には、美味しいお店がたくさんあります！ぜひ利用させて頂いていただきながら、地域のお店も、水沢地域のことも良く知っていったらと思っています。

公民館では、「長寿講座」や「いつしよにあそぼ」を主に担当させて頂いていきます。

いつでも気軽に声をかけてください♪
よろしくお願いたします



【妻有荘】

安心して暮らせる地域を目指し

社会福祉法人妻有福祉会

養護老人ホーム妻有荘施設長 田中 保雄



日頃より、社会福祉法人妻有福祉会及び養護老人ホーム妻有荘の運営に際し、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、平成31年4月に施設長に就任し1年が経過いたしました。この一年間、振興会、公民館活動に若干では会いますが参加させていただき、地域の皆様がとて熱心に地域活動に携わる姿がとても印象的でした。特に今年1月の「おらほのちよつとい活動」発表は、いずれも素晴らしく感銘を受けました。今後も地域の一員として微力ではございますが、一助になればと思います。

私も社会福祉法人妻有福祉会は、養護老人ホーム妻有荘だけでなく、デイサービスセンター、ホームヘルパーなど、在宅サービスや地域包括支援センターなど、地域の困りごとに対する相談窓口も設けています。昨今の状況をみますと、1つの家庭が様々な問題を抱え、家庭の力だけでは解決できない方が多くなっているように感じます。小さな困りごとでも構いませんので活用いただければ幸いです。

今後も「いつまでも安心して暮らせる地域」の実現を目指して、地域の皆様のご要望に耳を傾けながら様々な活動に取り組んでいきたいと思っておりますので、今後ともご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

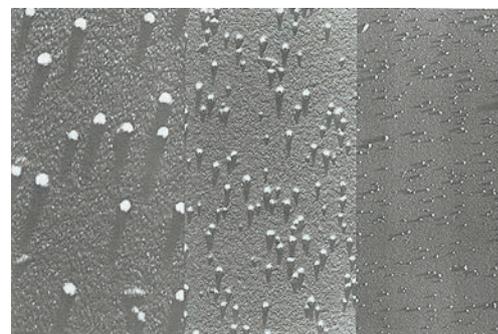


特集：ウィルスを考える

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス。

花粉症・アレルギー・精神病の約70%もウィルスが原因という学説もある。今回はこの見えない脅威、“ウィルス”について考察してみる。

見えない脅威、“ウィルス”について考察してみる。



純粋分離した人がんウィルスの電子顕微鏡写真。

気の遠くなるような古い話ではあるが、(今から40憶念前頃か?) 臨界と沸騰、想像を絶する強力な放射能の地獄の海でウィルスの繁殖がスタートした。

世の中がウィルスに振り回されている。しかし日本には戦前からウィルスをコツコツ研究してきたドクターがいたのだが、その話は長くなるので…。

ウィルスのサイズは10ミリミクロン～300ミリミクロン。世界最小ともいえる微生物、エアロゾルどころのはなしではない。花粉より、PM2.5よりはるかに軽量。マイホームにも、らくらく侵入。

ウィルス病の中で特に恐ろしいのは「狂犬病」。発病した犬にかまされると、人が犬の性格をおびてくる。よだれをたらし、なんとなく犬の形相になってくる。致死率100%。ウィルスは犬の遺伝子を担ぎ出し、人に植え付ける。ドラキュラ伯爵は、吸血コウモリにかまれ、コウモリの性格を発症したのかも？

コウモリ、犬、ネコ、アライグマ、キツネ、武漢の人たちが好んで食べた動物は狂犬病ウィルスポーター(運び屋)があまりにも多い。

通信員 I・F

@(アット)みずさわ

珠川での暮らし 川田 千尋



地域おこし協力隊として活動してまいりました、矢坂千尋です。人間地区の皆様に変化がありました。昨年2月に結婚し、現在は川田に苗字が変わり珠川で暮らしています。旦那さんの両親とおばあちゃんにも暖かく迎えてもらい、気づけば一年があつという間に過ぎていきました。

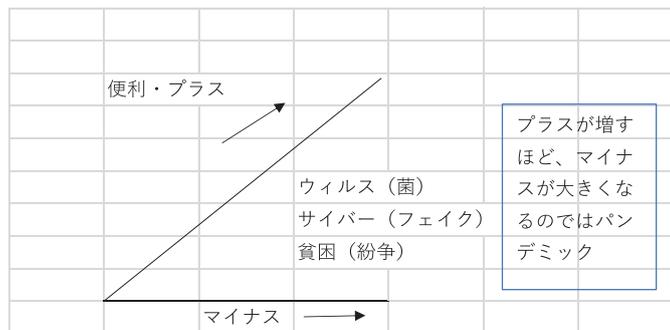
そして私だけではなく、十日町での生活を共にしてきた猫二匹も迎え入れていただきました。今や猫たちは、我がもの顔で生活しています。これから暖かくなると、黒猫のジジは朝早くから「散歩行きたい」とお父さん呼びます。白猫のテトは、お母さんに抱っこされるのが大好きです。おばあちゃんも猫を可愛がってくれます。旦那さんは、私より猫のお世話をしてくれています。猫の話ばかりですが、珠川でとても穏やかな毎日を過ごしています。

お嫁に来た川田家では、季節の行事が大切にされています。春のお日待ちにお正月のしめ縄づくり、だんご木飾り、ちんころ作りなど。私も受け継いでいきたいなと思います。猫との縁も、この結婚の縁も地域の方に繋いでいただきました。これからも人との繋がりを大切に、この地域で暮らしていきたいと思えます。これからもよろしくお願ひします。

◆編集後記◆

「三つのリスク!!」

今世界中の新型コロナウイルスでパンデミックになっています。昔からすると私達の生活が随分良くなりましたね。世の中便利になればなる程、環境を破壊し、病気などとの闘いに弱くなっているみたいです。コロナばかりに気を取られています、もう一つ大変な事態になっているのがアフリカから始まったサバクトビバッタの大発生です。70年振りらしいです。現在中央アジアに到達しそうです。あらゆる物を食べ尽くしているのです。今から30年前くらいだったと思いますが、NHK特集で、もし全輸入がストップしたら、日本は一年後には人口が1/3減になってしまう(予想)そこで三つのリスクとは...



通信員 I・S



漢詩

爆逆の友

然 鳴 如 越
 汝 呼 鴛 苦
 在 逝 齋 樂
 胸 公 巡 而
 膈 無 州 不
 勵 念 唱 盡
 教 念 遊 想

誠風



次回は6月10日
臨時号での予定